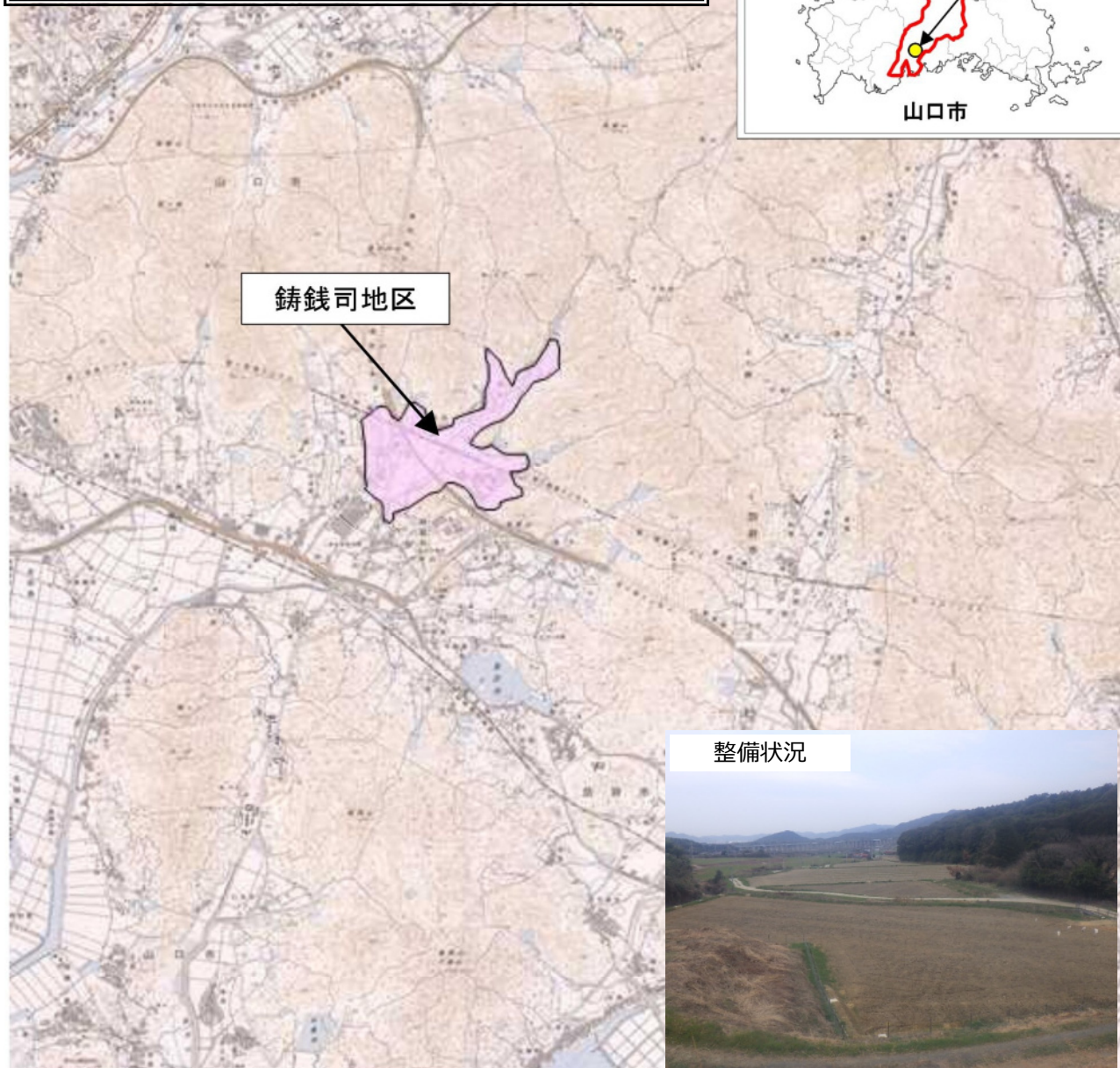


再評価項目調査

再評価実施要件		● 事業採択後（ 10 年 ） ○ 再評価後（ 年 ） ○ その他（ ）					
1 事業概要	事業名	鑄銭司地区 経営体育成基盤整備事業					
	事業場所	山口市鑄銭司					
	事業主体	山口県					
	事業期間	《 前回評価 平成 27 年 時 》 平成 28 年度 ～ 令和 11 年度 《 令和 7 年度 》 （ 西暦 2016 年度 ～ 西暦 2029 年度 《 西暦 2025 年度 》 ）					
	総事業費 （内用地補償費）	《 2,161 百万円 》 3,925 百万円 （ ー 百万円 ）	既投資額 （内用地補償費）	2,833 百万円 （ ー 百万円 ）	進捗率 （用地補償費）	72 % （ ー % ）	
	事業目的	山間部に隣接する鑄銭司地区の農地は不整形で、1枚あたりの面積は小さく、農道も幅員が狭いため、大型農業機械の導入が難しい状況にある。また水路も未整備で、農地の排水性も悪く、畑作物の導入に支障をきたしている。 このため、区画の拡大や用水路のパイプライン化、水田の汎用化等を一体的に行う区画整理への取組みを通じて、農業生産性や土地利用の向上を図り、担い手への農地集積を進め、収益性の高い農業経営を実現し、持続可能な経営構造を確立する。					
	事業内容	・ 区画整理 A=76.0ha					
事業効果	・ 作物生産効果 水稻、麦、キャベツ等を組み合わせた効率的な営農が行われ農業生産が向上 ・ 営農経費削減効果 区画の拡大等とともに作業性が向上 ・ 維持管理費削減効果 農道や水路が整備され、農地・農業用施設の維持管理労力が軽減 ・ 耕作放棄防止効果 担い手による効率的な農業経営を通じて耕作放棄地の発生が抑制 ・ 農業労働環境改善効果 農作業の機械化・高度化が進むことで労働環境が改善 ・ 地籍確定効果 換地によって地籍が明確になり境界関連のトラブルが抑制 ・ 国産農産物安定供給効果 農業用水施設等の整備により、国産農産物の安定供給に寄与						
2 再評価の視点	（1）社会経済情勢の変化	社会経済情勢の変化に伴う必要性の変化	農業者の減少・高齢化が進行していることから、優良農地の確保と併せて農作業を省力化し、担い手への農地集積を進める必要があり、本事業の必要性は高い。 [参考] 山口市（旧鑄銭司村）の社会経済情勢 《総農家数》 252人(H27)→189人(R2) △25.0% 《高齢化率》 75%(H27) → 79%(R2) +4.0% 《経営者平均年齢》 70.1歳(H27)→70.9歳(R2) +0.8歳			中項目評価	大項目評価
		関係市町及び地域の意向	・ ほ場整備を契機に設立した「農事組合法人すぜんじ北部の郷」は、ほ場整備の進捗とあわせて農地集積を進め、経営規模を拡大しており、本事業に対する地元の期待は高い。 ・ 地域農業の振興に必要な事業であることから、山口市からも、毎年、事業推進について要望を受けている。			中項目評価	大項目評価

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果分析等	単位：百万円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>主な項目</th> <th>前回（採択時） (基準年：H26)</th> <th>今回（再評価） (基準年：R7)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">便益 (B)</td> <td>①作物生産効果</td> <td>854.0</td> <td>515.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②営農経費節減効果</td> <td>4,815.2</td> <td>5,275.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③維持管理費節減効果</td> <td>-127.9</td> <td>-285.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④耕作放棄防止効果</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤農業労働環境改善効果</td> <td>131.4</td> <td>150.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥地籍確定効果</td> <td>10.2</td> <td>13.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦国産農産物安定供給効果</td> <td>119.7</td> <td>68.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>総便益</td> <td>5,803.2</td> <td>5,738.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td>1,769.8</td> <td>4,396.6</td> <td rowspan="3">関連事業費＋再整備費</td> </tr> <tr> <td>②その他</td> <td>1,798.2</td> <td>1,157.8</td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>3,568.0</td> <td>5,554.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>費用便益比 (B/C)</td> <td>1.63</td> <td>1.03</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 【費用対効果分析手法】 ○新たな土地改良の効果算定マニュアル（平成26年9月：農林水産省農村振興局）	区分	主な項目	前回（採択時） (基準年：H26)	今回（再評価） (基準年：R7)	備 考	便益 (B)	①作物生産効果	854.0	515.3		②営農経費節減効果	4,815.2	5,275.5		③維持管理費節減効果	-127.9	-285.2		④耕作放棄防止効果	0.6	0.7		⑤農業労働環境改善効果	131.4	150.6		⑥地籍確定効果	10.2	13.0		⑦国産農産物安定供給効果	119.7	68.3			総便益	5,803.2	5,738.2		費用 (C)	①事業費	1,769.8	4,396.6	関連事業費＋再整備費	②その他	1,798.2	1,157.8	総費用	3,568.0	5,554.4		費用便益比 (B/C)	1.63	1.03		大項目 評 価 A ・ B ・ C
	区分	主な項目	前回（採択時） (基準年：H26)	今回（再評価） (基準年：R7)	備 考																																																						
	便益 (B)	①作物生産効果	854.0	515.3																																																							
		②営農経費節減効果	4,815.2	5,275.5																																																							
③維持管理費節減効果		-127.9	-285.2																																																								
④耕作放棄防止効果		0.6	0.7																																																								
⑤農業労働環境改善効果		131.4	150.6																																																								
⑥地籍確定効果		10.2	13.0																																																								
⑦国産農産物安定供給効果		119.7	68.3																																																								
	総便益	5,803.2	5,738.2																																																								
費用 (C)	①事業費	1,769.8	4,396.6	関連事業費＋再整備費																																																							
	②その他	1,798.2	1,157.8																																																								
	総費用	3,568.0	5,554.4																																																								
	費用便益比 (B/C)	1.63	1.03																																																								
(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	・ 区画整理76.0haのうち43.4haの整備が完了している（令和6年度末時点） ・ 令和7年度以降32.6haの区画整理を行う（令和11年度完了予定）。	大項目 評 価 A ・ B ・ C																																																								
		【事業量の変化】 (有) 無 区画整理面積：80.6ha → 76.0ha 【理由】地域の意向を踏まえ、家屋周辺の農地を整備対象から除いたため 【事業期間の変化】 (有) 無 完了年度：R7 → R11 【理由】埋蔵文化財包蔵地の保護措置に伴い、時間を要したため																																																									
	(4) コスト削減	コスト削減	・ ぼ場の盛土材を他工事から搬入することで、購入土の削減に努める。	中項目 評 価 a・b	大項目 評 価 A ・ B ・ C																																																						
	代替案	・ 本地区の事業計画は、地元合意形成が図られた申請に基づくものであることから、計画どおり進めることが妥当と考える。	中項目 評 価 a・b																																																								
3 環境	配慮事項	・ 既設排水路の活用など、水辺環境への影響を最小限とすることで、水生生物の生息場所を確保する。 ・ 在来植物の早期回復のため、地区内の表土を畦畔に使用する。																																																									
4 対応方針	総合評価	● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止																																																									
	評価理由	地域の農業振興を図るために必要な事業であるため。																																																									
	備考																																																										

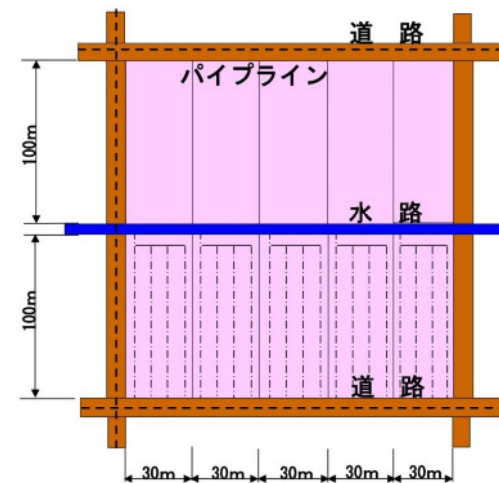
鑄銭司地区 経営体育成基盤整備事業 計画一般平面図



県内位置図



標準区画割図



標準構造図

